



西海国立公園

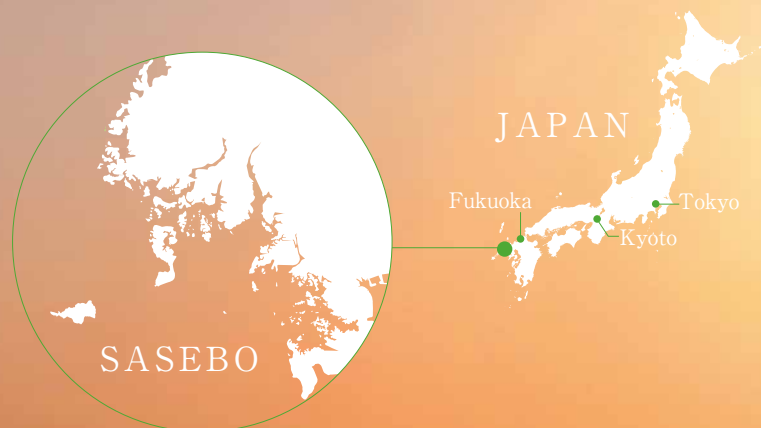
九十九島

青い地球のキャンバス
神さまが描いた208の宝島



西海国立公園 九十九島

石岳展望台より



日本の西の端で
出会えるもの、
春夏秋冬が弾む
九十九島日和。

日本の西の端つこにある『九十九島』。
複雑に入りくんだ長いリアス海岸と、
208の島々が浮かぶ壮麗な海である。
海の国立公園となつて60余年。市街
地のすぐ隣にありながら、大自然が広
がり、たくさんの生きものが息づく奇
跡の海なのだ。
刻一刻と変化する空と海、希少な野鳥
や植物、水辺の生きものたち、そして
大小の島々がもつ造形美と四季折々に彩
りを変える世界。
きつとここは神さまをも癒す楽園にち
がいない。

九十九島は
「世界で最も美しい湾クラブ」に
加盟認定されました。



「世界で最も美しい湾クラブ」は、湾を活かした観光振興と資源保護、そこに暮らす人々の生活様式や伝統の継承、および景観保全を目的に、1997年3月10日に設立されたフランスのヴァンヌ市に本部を置くNGO（非政府組織）で、世界27の国と地域・44湾が加盟しています。
日本国内では、松島湾（宮城県）、富山湾（富山県）、駿河湾（静岡県）、宮津・伊根湾（京都府）の4つの湾が加盟しており、2018年4月、新たに国内5番目に九十九島湾（長崎県）が、“世界で最も美しい湾”に加わりました。

■ 長串山展望台からの眺望

鮮やかなピンクの花じゅうたんの先に、
緑の島々と青い海のパノラマが広がる。



■ 俵ヶ浦半島「丸出山観測所跡」から (日本遺産「鎮守府」構成資産)

佐世保港と九十九島、ふたつの海に面する俵ヶ浦半島には明治期に造られた砲台群が残る。100年の時を刻む遺構の向こうに、おだやかな九十九島が広がる。

花と島と海がつくる幻想

春

SPRING
BEST VIEW



自然の彩りをまとう絶景
足もとに広がる世界を独占

生きもののたちの息吹で、山も海も笑う春の九十九島。標高234mの「長串山」には10万本のつじが咲き誇り、あたり一面ピンクのグラデーションに。広大な花園から望む九十九島の島影はまるで雲海のように、カメラを構えずにはられない。

さらにもうひとつ、佐世保が軍港として栄えた100年ほど前に、俵ヶ浦半島に陸軍が築いた「丸出山観測所跡」の向こうには、戦時下の様相とは対照的なおだやかな海が広がっている。佇む場所によって見える景色も感動も違ってくる、それが九十九島の醍醐味。

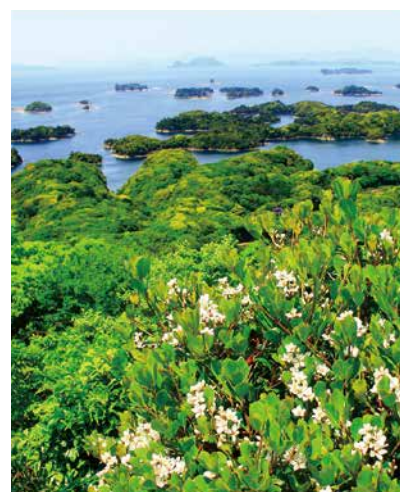
People

九十九島 × ノルディックウォーキング

フィンランド生まれの「ノルディックウォーキング」を夫婦で楽しみながら、普及活動にも熱心な眞藤さん夫妻。ファッション的な出で立ちも評判で、「非日常のスタイルで、季節の移ろいを五感で感じながら自分のペースで歩けるのがいい」と佐世保からノルネスブームを発信。九十九島パールシーリゾートを拠点にした海あり山ありのコースや街中ナイトウォークが人気で、健脚を誇る『させ歩人』が続出中!?

眞藤 健一さん 三和子さん

NPO 法人日本ノルディックフィットネス協会認定「ノルネスさせ歩」主宰。堅苦しいことは言わず、歩くことの楽しさを健脚と話術で広めるノリノリのご夫婦。



日本本土最西端の海のフィールド・九十九島。この大自然を舞台にマリンスポーツやアウトドアが楽しめる聖地が「九十九島パールシーリゾート」だ。ヨットセーリングや遊覧船、水族館などがあり、九十九島に生息する生きものや植物、野鳥たちの姿を間近に見ることができる。釣りを楽しむ人、磯遊びに興じる子どもたち、夕景をカメラに収める人などなど……九十九島の大切な自然の中に身を置いてみるだけで心が解放されていくことを、静かな海が教えてくれる。

海あそびの聖地を巡礼しよう
さて、あなたのお目当ては？

People

九十九島 × シーカヤック

波穏やかな海域に、無数の小島が点在する九十九島は、カヤッカーたちにとって最高の遊び場だ。堤さん夫妻は、無人島に上陸し、淹れたての珈琲を楽しむなど、カヤック初心者でも楽しめるツアーを企画している。中でも好評なのがカヤックの上から、沈む夕日を眺めるサンセットツアー。「天候が良ければ、海面に一筋の“太陽の道”が見られます。漕ぎ出せば、非日常の連続ですよ」



堤 正年さん・麻美さん

九十九島カヤックツアーを提供する、株式会社ウェーブピーク代表。麻美さんは、週末の助っ人ガイドとしてツアーに参加している。



心を裸にする
自然のマジシャン
イリュージョンではなく、
これは地球のアート



❶ 晩夏の夕暮れ時、展海峰にて
同時期同時刻に撮影しても、同じ表情の写真を撮ることはできない。すべては観る人と自然とのめぐりあわせ。



❷ 九十九島でヨットセーリング
夏空の下、クルーザー型のヨットで波静かな九十九島をめぐる。

夏

SUMMER
BEST VIEW

❸ 展海峰からの眺め

梅雨に入る前の初夏。海と空の青、島々の緑のコントラストが美しい。



刻々と変化する
カラフルな空模様
ハツときて、ジンとくる
地球のおもてなし



- 1 日没後まもない石岳展望台から
燃えるような赤と黄色の世界に青空の残像が映り、紅赤色の空が島影を覆う。年に数回こんな空の色になる。
- 2 小型遊覧船「リラクルーズ」から
海の上から見た茜色の景色。
影絵のような美しさ。
- 3 展海峰からの光景に秋を感じて
夏の名残りも残しつつ、九十九島に聞こえはじめる秋の足音。
- 4 黄昏時の石岳展望台から
黄金色の太陽とそれに照らされる無数の島影。時間を忘れて遊ぶトンボがアクセントに。

People

九十九島 × 写真家

「音楽と写真ってリンクするところがあって、今はその両方が自分の表現手段。通う度に違う表情を見せる九十九島の美しさに心が無くなり、島々の配置や夕陽の焼け方、茜空をV字になって飛ぶカワウの群れなどに地球の造形美を感じます」と語る KAZU さん。静と動のアートを通して、佐世保を全国に発信している。

2 3 の写真は KAZU さんの作品。



葛城 和久 (KAZU) さん

佐世保在住の音楽ユニット「SandyTrip」にて作曲、プログラミングを担当。近年ではフォトグラファーとしても活躍。4Kカメラ搭載のドローンにて九十九島など佐世保の景観美を動画と写真で伝えている。2015年「佐世保観光名誉大使」に就任。

写真家をも虜にしてしまう九十九島の七変化に出会えるかは、あなたの運しだい。同じ時、同じ場所であっても二つと同じ写真は撮れない、九十九島はまさにワイルドワイドな演出家だ。

四季の中でもっとも豊かな表情を見せる秋の九十九島をウォッチングするなら、船越展望所や、石岳展望台、展海峰がオススメ。ハリウッド映画「ラストサムライ」の冒頭を飾ったあの日本を象徴する風景が眼前に広がるのだ。空と海の境なき青の世界から日没までの光線のスペクタクルは、まばたきするのも惜しいくらい幻想的で妖艶。

七色に変化する
自然のミラクルに
出会う

秋

AUTUMN
BEST VIEW

■ 夕方 4 時頃、石岳展望台から

セピア色の九十九島はどこかセンチメンタル。風景に人や自然が映り込むことで、写真にストーリーが生まれる。



2 夕暮れ時の船越展望所より

茜色に染まった九十九島の上空で、カワウの美しい編隊飛行を目撃。

People

九十九島 × カキを育てる

佐世保の冬の風物詩となった九十九島かき。なかでも海の上に建てられたイカダの上のカキ小屋は、とれたてのカキをバーベキュースタイルで食べられるとあって、連日お客さんで大賑わい。「九十九島の海が育んだ濃厚な旨みを、海の上で食べる楽しさを体験してもらいたくて」と語る末竹さんは、旅人の胃袋をつかむ名人。旅の途中で出会った味の記憶は永遠なり。

マルモ水産
代表 末竹邦彦さん
安全性とおいしさを両立させた高度な養殖技術で、九十九島かきを全国区のトップブランドに躍進させた功労者のひとり。人なつっこい笑顔がチャームポイント。



ちにとつては格好の餌場。母の温かな懐を思わせる九十九島は、すべての命に公平で慈しみ深い。毎年2月〜3月は「ツルの北帰行」も観察でき、V字編隊を組んで九十九島上空を通過していく姿を目にすることができる。空に描かれる点描画が、春の訪れを告げてくれる。

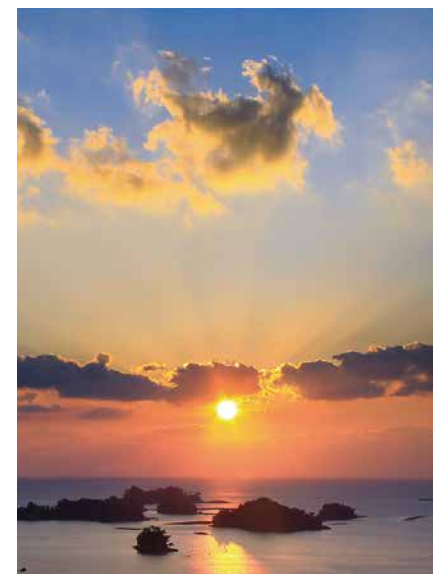
凍てつく冬空の下、自然界に生きるものたちはみな息をひそめる。しかし、母なる海は休むことなく満干を繰り返し、豊かな命を育んでいる。その象徴が冬に旬を迎える「九十九島かき」。海の滋養をたっぷり含んだ濃厚な味わいは、人々のいのちの糧となる。

九十九島に飛来する渡り鳥たちも同じ。波静かな浦々は休息場所となり、豊かな漁場は鳥た

渡り鳥たちの安息の地
九十九島上空をアートする

冬

WINTER
BEST VIEW





撮影 久我秀樹氏

ヒオウギ貝
【旬 10月～5月】
別名「虹色貝」ともよばれる、黄・赤・橙・紫の美しい色の特徴の二枚貝。プリッと引き締まった肉厚な身は、ホタテよりも旨味が濃く、一度食べるとやみつきになる旨さです。



ブランドも育っています



恵アジ
【旬 6月～8月】
漁師が一本釣りで丁寧に釣り上げ、出荷直前にしめた「恵アジ」は幻といわれる旨さ。

長崎ハーブ鯖
【通年】
エサにオレガノやナツメグなど四種のハーブを配合した、長崎のブランドさば。青魚特有のクセがなく食べやすいと地元でも好評です。刺身で味わうと、臭みがまったくなく甘みが口に広がります。



九十九島とらふぐ
【旬 11月～3月】
養殖とらふぐの生産量がトップクラスの佐世保。早摘みミカンを入れた特別な飼料を与え、自然豊かな九十九島の海で育ったとらふぐは身が引き締まって美味。旬の時期は市内飲食店でも味わえます。



身が締まった高級食感



九十九島いりこ
佐世保はいりこの生産量も日本一。九十九島の海で揚がったばかりのカタクチイワシを新鮮なまま加工するので、そのまま食べても出汁に使っても旨みがたっぷり。いりこの加工品も多数あります。

九十九島

旨味がちがいます！



天然の漁場が育む豊かな味わい
海岸線が複雑に入りくんだ九十九島の海域は、真珠や魚介の養殖が盛んな漁場でもあります。ここで育つ魚介が美味しいのは、海域に自然豊かな島々が点在しているから。潮の干満によって島々から海へと流れ込んだ養分が植物プランクトンを育み、その栄養豊富な海水が魚介を美味しく育てるのです。九十九島の豊かな自然が生んだ海の恵みを堪能ください。



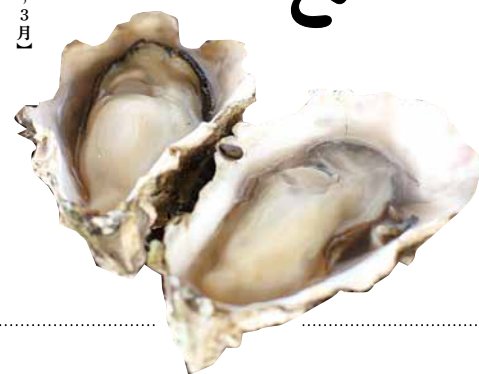
九十九島をいただく。
の恵み



旨み凝縮！

九十九島かき

【旬 11月～3月】
水揚げしたその場でいただく贅沢



九十九島かきは、小ぶりな身に旨みがギュッと詰まった濃厚な味わい。海から引き上げた鮮度バツグンのカキを、その場で焼いていただく「海上かき小屋」は地元ファンも多く、観光客の方にも好評です。



養殖イカダとカキ小屋
海水のチェックやUV 殺菌など徹底管理されたカキは安心・安全。

キロ単位で買えるんだよ！



九十九島かきのお祭りまであるんです。

九十九島かき食うカキ祭り

11月と2月の土日祝に開催
九十九島パールリゾートで開催される、旬のカキをセルフのバーベキュースタイルで楽しむ恒例イベント。会場には400台の焼き台がスラリと並びます。



夏場は

九十九島 岩がき

冬のマガキより身が大きな岩がきは、卵を抱えふつくと肥えた産卵期前の5～8月が食べ頃です。



クラゲシンフォニードーム
九十九島はクラゲの宝庫。周辺で確認されている100種類を超えるクラゲを、随時入れ替えて展示。



クラゲの研究・調査に力を入れており、九十九島で発見された新種のクラゲも展示されている。

元気いっぱいイルカたちに会える
九十九島水族館海きららをはじめ、九十九島の大自然・生態系を展示した「九十九島ビクターセンター」、遊覧船での島めぐりやマリッジジャーなど、様々な角度から九十九島の魅力を体感できる複合施設。佐世保名物「九十九島かき」のグルメイベントなど季節の催しも開催されます。

九十九島の玄関口 九十九島パールシーリゾート



九十九島を間近に楽しむ
マリッジジャーの数々。

九十九島遊覧船パールキーン
海の女王をイメージした優雅な遊覧船。島々の間を縫うように巡る約50分間のクルーズ。



サンセットクルーズ
日没の時刻に合わせて出航し、九十九島の夕映えを眺める期間限定の特別クルーズ。

「多島海の大自然へ漕ぎ出そう」
海の上を
ピクニック。



シーカヤック
九十九島の海域は波穏やかで上陸スポットもあり、絶好のカヤックフィールド。

**九十九島
パールシーリゾート**
0956-28-4187
HP <http://www.pearlsea.jp/>
九十九島水族館海きらら
開館時間 3月～10月 9:00～18:00
(最終入館時間 17:30)
11月～2月 9:00～17:00
(最終入館時間 16:30)



真珠の玉出し体験
水族館内では真珠の玉出し体験もできる。取り出した真珠は世界でひとつのアクセサリーに。

九十九島湾大水槽
九十九島の沖合いから沿岸までの自然環境の変化と生きものを再現。約120種13,000匹の生きものがここに。

九十九島の生きものに会える！

カブトガニ



無料シャトルカーを
運行しています
所要時間約5分
運行時間は季節によって異なる。

九十九島動植物園森きらら
0956-28-0011
HP <http://www.morikirara.jp/>
開園時間 9:00～17:15
(最終入園時間 16:45)

九十九島を望む高台には動植物園もあります。チーターやライオン、天然記念物のツシマヤマネコのほか、日本最大級の天井水槽を備えるペンギン館は必見。エサやり体験などのふれあいイベントが開催されるほか、春と秋のローズフェスティバルには園内が約200品種のバラで彩られます。

水族館から車で約5分
ふれあい動植物園



水中散歩
を楽しむ♪



スキューバダイビング
春から秋にかけて、対馬暖流に乗ってやって来る、南国のカラフルな魚たちにも出会えます。



ヨットセーリング
舵取りやセール操作を体験。心地よい海風を全身で感じることができます。

上陸も

見て見て！



九十九島海賊遊覧船みらい
海賊ハットをモチーフにした外観が目立つ、日本初の電気推進遊覧船。

無人島上陸とエサやり体験クルーズ

島に上陸し潮だまりで生きもの観察。さらに鯛の養殖イカダではエサやり体験もできます。



小型遊覧船リラクルーズ
船長のガイドを聴きながら、島の四季折々の表情を間近に見ることができます。



国指定重要文化財 黒島天主堂



フランス人マルマン神父の設計と指導のもと、黒島カトリック信徒の献金と労働奉仕で明治35(1902)年に2年の歳月をかけ完成しました。使用された40万個のレンガの一部は島内で焼かれ、基礎や入り口、礎石の石材は黒島で採掘された御影石(みかげいし)が使われています。レンガ造りの建物は天井が高く、3層構造になっており、こうもり天井や束ね柱に見られる木目は手書きされたもので、細部にまでこだわって作られています。祭壇の床には鮮やかな有田焼のタイルが貼られ、スタンドグラスやフランス製の聖鐘は建設当初から使われてきたものです。当時としては画期的な構造で、その後の教会建築に大きな影響を及ぼした文化的価値の高い建造物でもあります。

※2019年2月から2021年3月末(予定)まで、黒島天主堂の耐震化・保存修理工事を実施しています。安全性の確保を最優先とするため、工事期間中は敷地内への立ち入りを制限し、建物の見学は外部の見学台からとなります。

世界文化遺産に登録された カトリックの島



佐世保市相浦港からフェリーで約50分。九十九島のひとつである黒島は、かつて「隠れキリシタンの島」とよばれ、江戸時代には迫害から逃れるため、多くのキリシタンが渡ってきました。現在も島民の約8割がカトリック信者で、黒島のシンボルとなっている「黒島天主堂」は、島の住民の心の拠りどころです。「黒島天主堂」を含む「黒島の集落」は、2018年7月、世界文化遺産に登録されました。



蔵(わらべ)展望所
長崎島の断崖と大海原を望めるナイスビューポイント。



信仰復活の地
信徒の存在を告げるため、命がけて大浦天主堂を目指した出口家跡地。

九十九島の風景を愛でた偉人たち

紺碧の海に美しい緑の島々が点在する、美しい多島海の景観は、多くの詩人や歌人たちの心を魅了してきました。



伊能 忠敬

(1745生 商人・測量家)

文化9(1812)年12月から3か月かけて佐世保周辺の測量を行っており、寒風吹きすさぶ中、九十九島の複雑なりأس海岸や島々を測量したと記されています。文化10年の正月を、佐世保の相浦で迎えており、次の歌を残しています。『七十に近き春にぞあひの浦 九十九島をいきの松原』(70歳に近い春を相浦で過ごしている。「九十九島」とあるように99歳まで長生きして、測量の仕事を続けたいものだ。)



田中 穂積

(1856生 作曲家・海軍軍楽隊長)

展海峰にある銅像

明治35(1902)年に作曲された日本初のワルツと言われる「美しき天然」は、軍港として発展する佐世保に海軍軍楽隊長として赴任した田中穂積が私立佐世保女学校(後の市立成徳高等女学校)で音楽指導をする際に、教材として作曲したものと伝えられています。この曲は、現在も佐世保市民の愛唱歌として親しまれています。



戦時中、潜水艦と見紛われた
オジカ瀬(上)
斧落としと丈ヶ島(左)
寝そべるライオンの姿に似た
横島(右)

島のは市民が調査発表した！

九十九島の海域に浮かぶ「208」という島のは、平成13年に佐世保市民を中心としたボランティア有志、「九十九島の数調査研究会」が明らかにしたものです。それまで統一見解がなかった「九十九島の島のは」を数えようという取り組みがスタートしたのは、平成11年秋のこと。市民43名が、船やヘリコプターを使って現地調査を行いました。ところが、干潮時は一つの島でも、満潮時に二つに離れてしまうなど、「島」とみなす基準がなく調査は難航。そこで島のは定義を、①自然に形成された陸地で、高潮時に水に囲まれた水面上にあるもの、②植生が認められること、と定めカウントした「208」を、正式な島のはの数として公表しました。

島にはそれぞれ名前がある！

数えきれないほどたくさん島があることから、その名がついたといわれる「九十九島」。実はその島々の多くに名前があるのをご存知ですか。なかには島にまつわる民話や伝説が名前のは由来になっているものもあり、例えば「斧(よき)落とし」という島のは名は、平戸の殿様が釣りの邪魔になった木を切ろうとして振り下ろした斧を落としてしまったという民話のが元になっています。

くじゅうくしま 九十九島 のこと

About KUJUKUSHIMA

島々に
ついて



1955年3月16日に西海国立公園に 指定されました。

佐世保湾の外側から北へ約25kmにわたり点在する、大小208の島々がある海域を「九十九島」といいます。島のは密度日本一の多島海で、「西海国立公園」の一部に指定されています。九十九島海域の海岸線の長さは約353kmあり、そのうち自然のままの海岸が約288kmと、全体の約8割を占めています。このことから多くの自然が残されていることがわかります。

九十九島八景

佐世保市認定、選りすぐりの
九十九島絶景ポイントです。



NAGASAKI / SASEBO
KUJUKUSHIMA

絶景

九十九島 見どころMAP

九十九島を大パノラマで望む



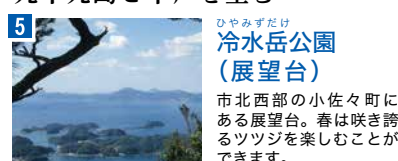
佐世保市下船越町399 120台
車：西九州自動車道佐世保中央ICより約20分
バス：佐世保駅から路線バス展海峰行きで約40分
ここから撮影 表紙、P6 1、P7 2、P8 2

九十九島を間近に見下ろす



佐世保市船越町147 11台
車：西九州自動車道佐世保中央ICより約15分
ここから撮影 P11 2

九十九島と平戸を望む



佐世保市小佐々町矢岳1618-12 390台
車：西九州自動車道佐々々ICより約30分

九十九島の中から島々を眺める



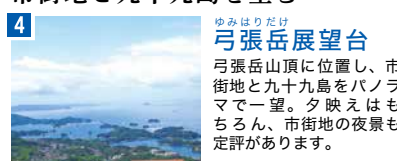
佐世保市高島町 なし
車：西九州自動車道相浦中里ICより相浦港まで約5分、
相浦港よりフェリー約25分

市街地を含む360度の絶景ビュー



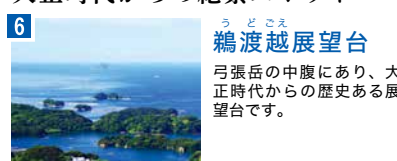
佐世保市船越町2277 30台
車：西九州自動車佐世保中央ICより約15分
ここから撮影 P2、P8 1、P9 2、P10 1

市街地と九十九島を望む



佐世保市小野町 85台
バス：佐世保駅前から路線バス弓張岳展望台行きで約30分

大正時代からの絶景スポット



佐世保市長坂町490-3 あり
車：西九州自動車道佐世保中央ICより約15分

花に囲まれた九十九島を望む



佐世保市鹿町町長串174-12 500台
車：西九州自動車道佐々々ICより約30分
ここから撮影 P4 1

九十九島へ行くなら便利な周遊バスで

SASEBO クルーズバス“海風”
九十九島や日本遺産認定の構成文化財を、ガイドの案内で巡るバスツアー。
佐世保観光情報センター 0956-22-6630(9:00～18:00 年中無休)

アクセス情報

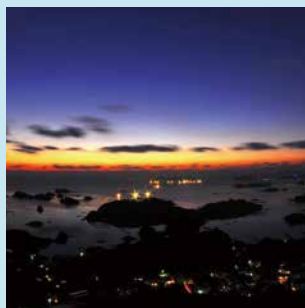
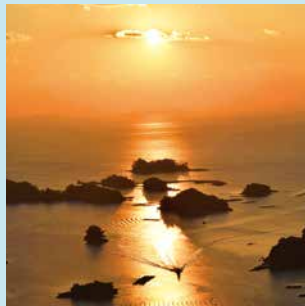
空の交通 [JAL・ANA・SNA・SKY・APJ]			
東京 [羽田]	長崎空港	約95分	18往復/日
東京 [成田]	長崎空港	約110分	1往復/日
名古屋 [中部]	長崎空港	約80分	2往復/日
海の交通			
相浦港 → (黒島旅客船) フェリー → 高島 → (黒島旅客船) フェリー → 黒島 … 約50分 3便/日			
陸の交通			
福岡	車 (高速) 佐世保みなとIC	約105分	
	バス (高速) 佐世保駅前(西肥バスセンター)	約120分	34往復/日
	JR (特急みどり) 佐世保駅	約110分	16往復/日
長崎	車 (高速) 佐世保みなとIC	約60分	
	バス (高速) 佐世保駅前(西肥バスセンター)	約90分	26往復/日
	JR (快速シーサイドライナー) 佐世保駅	約100分	
佐世保	バス 佐世保行き8本・長崎行き7本		
	バス 佐世保駅前(西肥バスセンター)	約90分	12往復/日
	乗合ジャンボタクシー 佐世保駅みなと口	約55分	約13往復/日



数えきれないほどの感動

くじゅうくしま

西海国立公園 九十九島



写真：坂井 誠/KAZU/させぼパール・シー(株)/させぼ観光デジタルフォトコンテスト受賞作品/ダイブハウスわんだーらんど
佐世保・九十九島「世界で最も美しい湾クラブ」加盟認定記念Instagram写真コンテスト受賞作品

九十九島・佐世保観光については

佐世保観光情報センター

〒857-0863 長崎県佐世保市三浦町21-1(JR佐世保駅構内) TEL. 0956-22-6630

観光情報サイト www.sasebo99.com



企画発行

佐世保市観光商工部観光課 TEL.0956-24-1111

(公財)佐世保観光コンベンション協会 TEL.0956-23-3369